

かもまるくん
ですっ。

加賀市標章



石川県教育支援センター

やすらぎ加賀通信

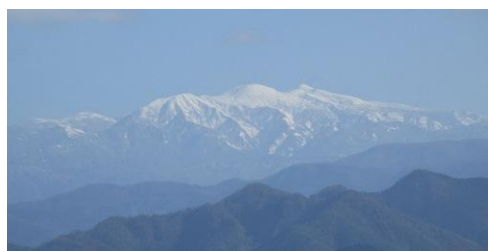
ブログ更新中 見てね！

第112号 2016/12/8

東北大震災の福島から避難転校してきた子ども達がイジメにあっているというニュースがありました。その対応についての報道内容が我が耳を疑った内容でさらにショックでした。被災者にとっては二度目の人的被害ですね。イジメは喫緊の課題。これは呪文だったのでしょうか・・・残念です。もし保護者が公表しなかったらどうなっていたのでしょうか。

内戦で22万人以上の死者が出て、700万人もの人が難民となったコロンビアのサントス大統領がノーベル平和賞を受賞しました。先頃の報道によると内戦が終結したようですが、2002年大統領候補となったイングリッド・ペタンクールさんの言葉に「言葉は我々の武器であり、盾です」「現在のコロンビアでは、言葉は意味を失ってしまい、誰も信じなくなっています。私は言葉に意味を取り戻したい」と訴えたそうです。(北陸中日新聞より)

立ち止まって考えてみたい。



白山 12/2

土田先生（心理カウンセラー）の相談日

12月 9日、1月20日

2月10日、3月 3日 金曜日

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は予約をお願いします。



	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
10月	7	10	1	18	0
11月	1	13	1	15	0
12月	0	0	0	0	0

※12月は6日現在

第3回 事例検討会から 12月2日（金）15:30～16:50 加賀市青少年育成センター

22名参加

今回は講演会を行いました。

講師 金沢大学原田克巳准教授（臨床心理士）

演題 いじめに対する組織的な対応について考える

初めに

- ・「チームとしての学校」が求められる背景
- ・「チームとしての学校」を実現するには
- ・「チームとしての学校」と家庭、地域関係機関

についてお話しがあり、その後いじめの態様、いじめ発見、いじめ対応アドバイザー、いじめ防止対策推進法、こころの教育推進協議会による事業、いじめ問題対策事例集等参考資料を示され、具体的な事例検討がありました。特に、教師もいじめ構造の中にあるという示唆に富んだアドバイスは身に沁みて感じました。参加された皆様は今後の実践にとっても参考になったことと思います。



10・11月の活動

キノコ教室

- ◎ 一昨年ホダギに入れたナメコとシイタケが収穫できる様になりました。時間をかけて育てることは難しいですが決して自然は裏切らないですね。待つことの大切さを感じました。何事も、信じて待つ！



- ◎ 天然キノコ
山歩きして見つけた美味しいキノコです。今年はキノコが不作と言われましたがヒラタケとの出会いがいつも以上に多かったですね。煮物、天ぷら、炒めものと美味しかったですよ。



ヒラタケ

能登キノコ

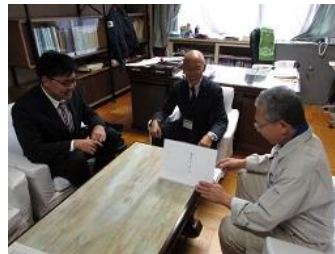


加賀フレンドシップ

今年も金沢大学原田ゼミの学生さん4名が、市内2高校とのぞみ教室に子ども達の話相手に来てくれました。10月31日に初顔合わせがあり、約10回通ってくれます。教員と違って児童生徒にとっては話がはずむこと間違いなしですね。ありがとうございます。



室長挨拶



学校打合せ

アッキーのつぶやき

やすらぎ加賀教室心理カウンセラー

土田晶子

自分で考えるということ

これは、2~3年前までハワイに住んでいたお母さんから先日、お聞きしたお話です。その当時お子さんは、ハワイの小学校の低学年でした。その学校には、いたるところに張り紙がしてあったそうです「悩みがあったら、まず自分で考えてみましょう。それでもいい考えが浮かばなかったら、お友達に相談してみましょう。それでもだめなら、学校のことは先生に、家庭のことは親に相談してみましょう」と。そして、先生に相談に行くと「自分で考えたことは何？お友達からのアドバイスは何？」と言って、先生の相談が始まるそうです。日本では、いつの間にか「悩みがあったら誰かに相談しましょう」だけが、蔓延しています。「まず、自分で考えてみましょう」ということに、私は強い衝撃を受け、知らず知らず、子供から悩み考えることを奪っているような気がしました。皆様は、どのように感じられたでしょうか。